

学校便り

第368号

平成29年3月6日

練馬区立光が丘第八小学校

校長 鈴木隆志

本校の教育について

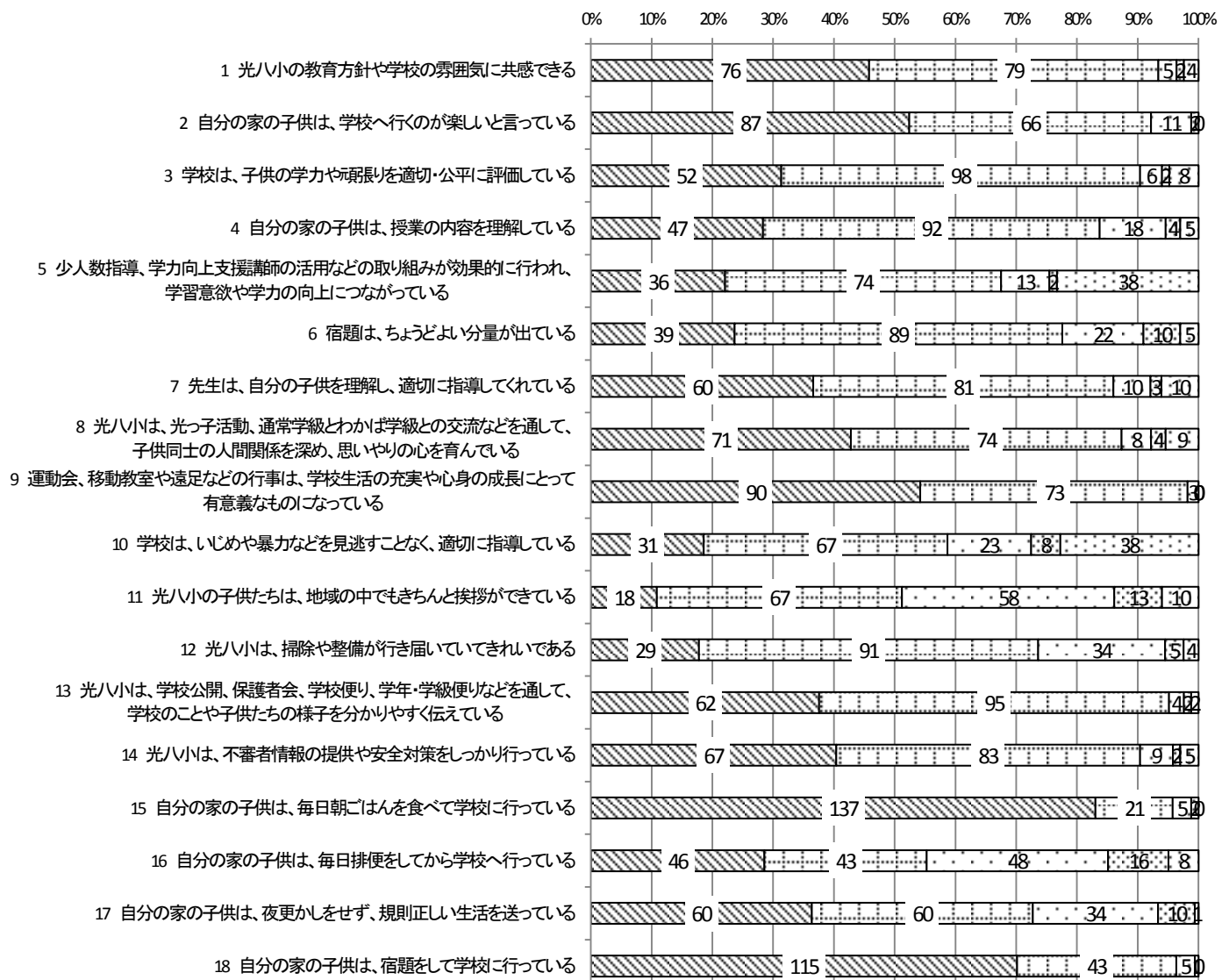
本年度の学校評価について、お忙しい中アンケート等に御協力をいただきありがとうございました。多くの御回答を、学校評価の中で生かすことができました。多くの肯定的な評価とともに、御指摘いただいた点につきまして改善等を図ってまいります。

教育活動全般についての保護者アンケート

回収率87% (家庭数197のうち回答数171)

平成28年度 光八小の教育活動全般についての保護者アンケート結果

☑A(大いにそう思う) ☐B(そう思う) ☐C(あまりそう思わない) ☐D(そう思わない) ☐E(分からない)



<教育活動全般についての保護者アンケート結果から>

18項目の中で「大いに思う」「思う」をあわせて80%以上の評価を頂いたのは10項目です。一方、70%を下回っているのは4項目あります。この4項目は昨年度と同じです。この評価を真摯に受け止め、さらに向上させていくこと、改善することの方策を検討し、次年度も子供たちの力を伸ばしてまいります。

Q 設問①②⑨⑬について、概ねよい評価を頂いています。「チーム八小、みんなで育てる光っ子」の方針のもと、次年度も児童一人一人に目を向けた教育を推進してまいります。設問⑬「学校のことや子供たちの様子を分かりやすく伝えている」では、昨年度から肯定的な評価が4ポイント上がっています。今後もホームページの充実を図るなど、学校の様子を分かりやすく伝えて参ります。

○ 設問③～⑦は学習指導に関する項目です。昨年度からは平均3ポイント程度、評価が上がっています。設問⑤「少人数指導、学力向上支援講師の活用」については昨年度同様、「分からない」の回答が多くなっています。本校では3年生から6年生まで、学年を習熟度別に3分割して、一人一人の習熟の程度に応じてきめ細かく指導しています。都の学力調査でも、正答率が低い人数の割合が徐々に減っているという成果も出ています。

また、昨年度より、みんなが分かる、できる授業（授業のユニバーサルデザイン）を目指した校内研究に取り組んできました。2月にはわかば学級が研究の成果を発表しています。設問④「授業の内容を理解している」は2ポイント上がっています。児童のアンケートでは「授業で勉強していることがよく分かります」の項目が昨年度から7ポイント上がっています。研究は算数科に焦点をあてましたが、他教科でも実践を重ねてまいります。

○ 設問⑩「いじめや暴力を見逃さない」の項目は肯定的な回答が60%を下回っており、「分からない」の回答が20%を超えています。本校では児童に気になる様子が見られたり、心配な情報が寄せられたりすると直ちに情報を共有し、組織的にいじめ防止に取り組んでいます。また、年間3回、いじめについての児童アンケートを実施し、状況の把握に努めています。学校は児童や保護者の方々にとって安心できる場でなければなりません。今後も児童や保護者の方々にとって安心できる学校を目指します。学校には担任等の教員だけではなく、キッズルームにはスクールカウンセラーや心のふれあい相談員もおり、児童だけではなく保護者の方の相談にも乗っています。キッズルームの取組を学校便りで紹介するなど周知を図り、相談しやすい雰囲気作りにも努めてまいります。気になることや心配なことがあれば、ぜひお声がけください。

○ 設問⑭は昨年度から3ポイントと若干上がりました。近隣で起こった不審者情報や暴風雨等の情報を学校連絡メールで配信しています。今年度は20回以上配信しました。今後も活用を図っていきますので、未加入の方はぜひ登録をお願いします。また保護者の皆様を中心として安全・安心ボランティアとして御協力いただいています。主に1階の受付にいますが、日頃のお子さんの様子を見ることもでき、給食の用意もあります。可能な方はぜひ安全・安心ボランティアに御登録頂ければと思います。御登録については次年度4月に御案内いたします。

○ 設問⑮の地域での挨拶は低い数値になっています。昨年度と比較しても10ポイント下がっています。本校の課題の一つです。学校は多くの地域の方の御協力に支えられています。校庭開放や光っ子ひろばをはじめ、地域の方々には授業や地域の行事で何度もお世話になっています。地域の方の支えがなければ行うことができない活動が多くあります。次年度からは学校・地域連携事業という取組が本校でも始まります。これは地域の方々の教育力をより学校に生かそうとする取組です。

近所のお知り合いの方や、お世話になっている地域の方にすすんで挨拶ができる光っ子になってほしいと願っています。学校でも引き続き指導していきます。御家庭でも保護者の方からお手本として挨拶をしていただくなど、お子さんに挨拶が身に付くよう御指導いただければと思います。

○ 設問⑯⑰⑱の4つの項目は、主に「家庭での評価」です。全体の傾向を理解しつつ、個々に改善していただければと思います。各設問とも昨年度から肯定的な評価が若干上がっており、保護者の皆様に御協力をいただいていることを感じております。規則正しい生活が子供の一日のリズムを作り、体調を整えます。これにより児童が元気で明るく学校生活を送ることができます。今後も、学校と家庭とが協力をし合って児童の健全育成に努めていきたいと思っております。御家庭でも子供への御指導をよろしく申し上げます。

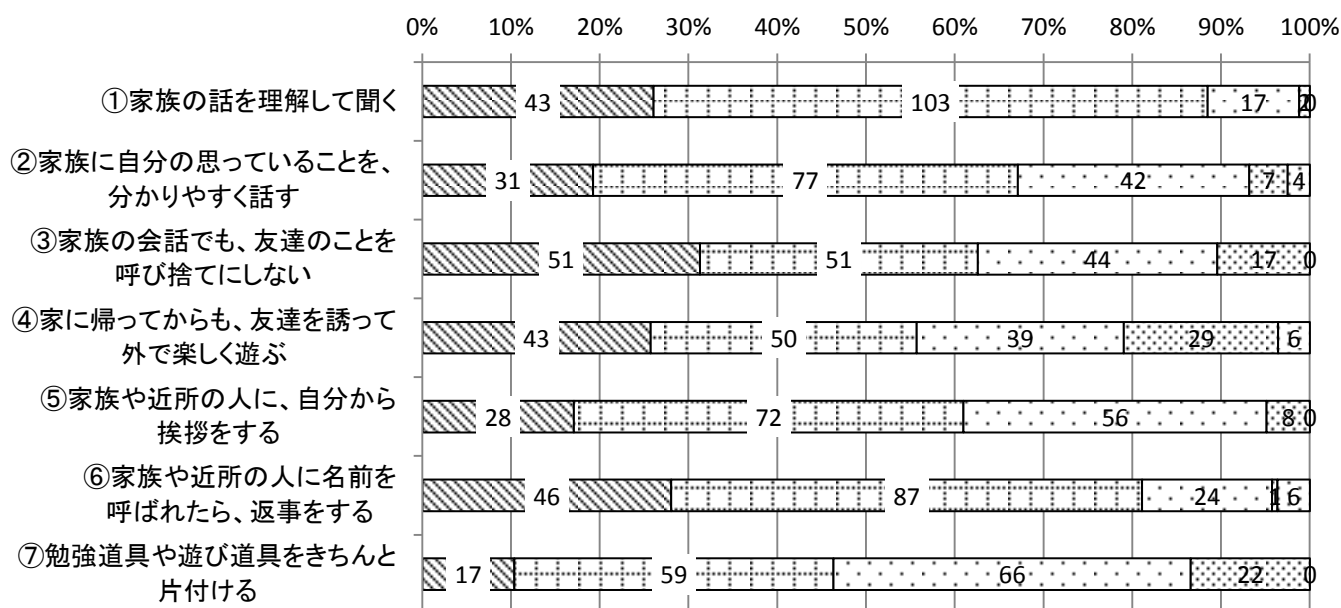
学校の重点目標を受けた、各御家庭における取り組みについてのアンケート

学校では下記の重点目標を掲げています。この目標を受け、教育活動全般のアンケート以外にも重点目標の定着の様子についてアンケートを実施しました。

| 教育目標 | すすんで学ぶ子供 | 仲良く助け合う子供 | 健康で明るい子供 |
|---------|--|--|---|
| | ↓ | ↓ | ↓ |
| 学校経営方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく学ぶ子 ・よく聞き学び合う子 ・めあてをもって学ぶ子 | <ul style="list-style-type: none"> ・友達と仲良くする子 ・思いやりをもち協力する子 ・お互いを認め合い励まし合う子 | <ul style="list-style-type: none"> ・元気に挨拶する子 ・仲良く元気に遊ぶ子 ・すすんで運動する子 ・最後までやりぬく子 |
| | ↓ | ↓ | ↓ |
| 今年度重点目標 | 学習面 | 心情面 | 生活面 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・人の話を聞く子 ・自分の思っていることを伝える子 | <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりのある言葉で話せる子 ・誘い合って外で楽しく遊ぶ子 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分から挨拶をする子 ・名前を呼ばれたら返事をする子 ・目標に向かって頑張れる子 |

平成 28 年度 学校の重点目標を受けた、各家庭における取組についてのアンケート結果

☑A(大いにそう思う) ☐B(そう思う) ☐C(あまりそう思わない) ☐D(そう思わない) ☐E(分からない)



<学校の重点目標を受けた、各御家庭における取り組みについてのアンケート結果から>

○ 設問①の「理解して聞く」については肯定的な回答が9割近くになっています。一方設問②の「分かりやすく話す」については7割を下回っています。学校では、話す順序に気を付けることや話の中心をはっきりさせることなど、学年に応じて指導しています。また、各学級で日常的にスピーチに取り組んだり、集会等の全校の場で発表したりする機会を多く設けています。

御家庭では、お子さんの話を最後までしっかりと聞く、といったことを心がけていただければと思います。

- 設問③⑤⑥の挨拶や言葉遣いについては、学校と御家庭で連携して取り組んでいきたいところです。特に挨拶については低い評価となっています。挨拶は日常的にしていけることで身に付いていきます。また、御家族等、身近にいる大人の言葉も含め、日常的に触れている言葉を子供たちは自然に身に付けていきます。子供に挨拶や正しい言葉遣いが身に付くようにするためには、子供に言うだけではなく、大人が率先してお手本を示していくことが大切であると考えています。
- 設問⑦の片付けについては、低い評価になっています。学校の様子では、友達の分まですすんで片付けてくれる児童もいれば、教師が何度も声をかける児童もいます。また、借りた道具の扱い方が気になることもあります。挨拶等と同様に、学校と御家庭で連携して課題の解決にあたることが大切であると考えます。

保護者アンケート：自由意見（抜粋）

【評価されている意見】

校風等

- ・ 光八小は子供の個性を尊重し、伸び伸びと子供らしく育つ環境を作ってくださっています。子供は親だけではなく学校や周りの人からも愛情を受けながら、人と人のつながりを大事にする健康な人間になるのだと思います。
- ・ 担任の先生が積極的に子供に言葉をかけてくださっているので、子供が常に先生と話せる状態になっていて、素晴らしいと思います。
- ・ わかば学級、通常の学級、学年を越えて積極的に自然に子供たち同士が接している場面を目にすると、光八小ならではの実感しています。
- ・ 6年生が本当によく1年生のお世話をしてくれています。

学習指導

- ・ 先生のおかげでもともと好きだった理科がますます好きになりました。

生活指導

- ・ 友達関係のことで、いろいろと揉めたり嫌なことをされたり等がありますが、その都度担任の先生が解決してくださっているので、信頼がもてます。

行事・活動

- ・ 少人数ならではの活動や体験学習が多く、体験が実になっているので子供も楽しんで登校しています。
- ・ 光八小は穏やかな子が多く、とても平和な学校生活を過ごせる環境に感謝しています。光っ子班活動やわかば学級との交流の場も良い影響があると思っています。

【改善してほしい意見】

校風、子供の様子等

- ・ 2学期から息子が「どうしてこんなに次々と大変なことがやってくるの？」と連日口にします。精神的に負担が大きい様子ですが、終わったときには達成感があるようで、良い経験・成長への一助となってほしいです。
- ・ わかば学級との活動や児童の話が会話に出てくることはありません。「支援が必要な仲間」を教える・考える機会があると良いです。

学習指導

- ・ 中学・高校のことを考えると、もう少し文章作りに力を入れてほしいと思います。なかなか家庭ではできないことですので、中・高学年になるほど文章を読んだり書いたりする機会に慣れてほしいです。
- ・ 少人数指導・学力向上支援講師の活用に関して、3、4年生の頃は子供の意欲向上につながっているように見えたが、5年生はその効果が分からない。
- ・ 宿題の量はもう少し多くてもよいのではと感じています。
- ・ 宿題に必要な教科書は学校のロッカーに置いておけるようにしてもらえないでしょうか。

行事

- ・ 学芸会、展覧会と比べてスマイルコンサートは大きな行事としての比率が違いすぎると思います。学芸会の達成感とスマイルコンサートを同じ土俵に乗せてほしくないです。

生活指導

- ・ 学習面ではしっかり見てくださっているのですが、生活面で心配です。担任の先生ははじめを見逃すことなく、生活面でもしっかり子供たちを見て適切な指導をしていただきたいです。
- ・ 子供が小学校に入学してから言葉遣いが悪くなり、気になります。
- ・ お互いを思いやれるような道德の教育をお願いします。

情報発信

- ・ 不審者情報のメールが少し遅いような気がします。できればもう少し早くお願いします。
- ・ ホームページでも頻繁に行事や生活を更新していただけると嬉しく思います。

保護者会・学校公開

- ・ 保護者会を土曜日にはできないでしょうか。

その他

- ・ 夏休みの水泳指導の日数をもっと増やしてほしい。
- ・ 学校での過ごし方について、家庭によって子供への言い聞かせ方に差があると思います。「人にされて嫌なことはしない。」「意地悪は恥ずかしいこと。」等、親から子供へ言い聞かせる等、家庭でできる最低限のことはしてから学校へ送り出すよう、協力を求めてもよいと思います。
- ・ 校庭開放は、冬の間も水曜日以外も開放してほしいです。学校が一番安全なので。
- ・ 光っ子ひろばは他校ではほぼ毎日あるのに、なぜ八小は不定期なのか疑問です。
- ・ 少人数のために廃校対象にならないか心配しています。そうならないために我々保護者も学校と協力するよう努めていきたいです。

<自由意見について>

- 校庭開放・光っ子ひろばについて：校庭開放は11月～2月の間は日没の早さを考慮し、5時間授業である水曜日にしか遊ぶ時間が確保できない状況にあります。光っ子ひろばは室内でも活動できるためその期間でも週3回程度実施していますので、学校で遊ばせたい方はぜひ光っ子ひろばに御登録をお願いします。光っ子ひろばは、卒業生の保護者や地域の方を中心としたスタッフの方々により運営していただいています。また、校内を使用するため学校行事との兼ね合いで実施できないときもあります。それらを考慮し、無理なく実施できる週3回程度を目安としています。
- 学芸会等行事について：今年度の学芸会のアンケートにも、学芸会を毎年やってほしいといった御意見もあり、評価していただいたものと感じております。一方、展覧会やスマイルコンサート（音楽会）もあり、多様な行事を通して子供たちのいろいろな面が見られ、成長につながっていきます。かける時間や発表の形態は違いますが、それぞれ大切な行事と捉えています。また、行事が多過ぎても子供たちの負担になります。各行事を充実させながら、日常の落ち着いた学校生活も大切にするためには、現在の3年サイクルが適切と考えています。
- 教科書の持ち帰りについて：一日の見通しをもち、必要なものを自分で用意するといった習慣を、児童が身に付けることが大切であると考え、日常的に使う教科書等については毎日持ち帰るよう指導しています。御理解いただければと思います。
- 学校連絡メールの配信について：不審者情報等の配信は、学校に情報が入った日に配信しております。今後もお子さんの安全確保に御活用ください。

※ 他にも多数御意見をいただきましたが、誌面の都合で抜粋させていただきました。いただいた御意見は真摯に受け止め、改善の方向を探ってまいります。

学校関係者評価の結果

2月13日（月）に、第3回学校評議員会並びに学校関係者評価委員会が開催されました。

本年度の学校評価（教職員による自己評価結果および保護者の皆様と児童からのアンケート結果）について吟味していただき、加えて本校の一年間の教育活動について様々な御意見をいただきました。また、授業の様子も参観していただいています。

学校関係者評価委員の皆様からいただいた御意見の一部は以下の通りです。

| | 学校経営計画達成目標 | 学校関係者評価委員の皆様からの御意見 |
|------|------------------------|--|
| 学習指導 | 基礎的・基本的な内容の定着・学力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 算数の少人数指導が、きめ細かな支援ができる体制となっている。 学習の楽しさを味わわせて学習意欲の向上につなげてほしい。 |
| | 学習指導要領に基づいた教育課程の確実な実行 | <ul style="list-style-type: none"> 学校行事を充実させながらも、各教科の指導も確実に行われている。 一人一人が大切にされていると感じる。 |
| | 校内研究での指導の工夫について | <ul style="list-style-type: none"> みんなが分かる、できる授業を目指す授業のユニバーサルデザインには、ぜひ日常的に取り組んでほしい。 |
| | 道徳的判断力、道徳的実践意欲の態度と育成 | <ul style="list-style-type: none"> いじめ防止はどの学校でも大きな課題である。学校での取組をもっと保護者や地域に周知していくとよい。 |
| 生活指導 | 管理や指導の不注意によるけがや事故の未然防止 | <ul style="list-style-type: none"> 大きなけがや事故が起こらないよう、毎月の安全点検だけではなく、日々の点検も大切である。 |
| | 家庭、地域、関係諸機関等との連携・協力 | <ul style="list-style-type: none"> 地域と連携した教育活動をさらに充実させていく。 地域での挨拶は例年の課題である。学校・保護者・地域でそれぞれきちんと指導していく必要がある。 |
| | 子供の理解とその共通理解 | <ul style="list-style-type: none"> キッズルームのことをもっと周知して、心のふれあい相談員やスクールカウンセラーの活用を図っていくとよい。 教員にも保護者が気軽に相談していけるようになるとうよい。 |
| | いじめ、不登校「学級の荒れ」ゼロの学校 | <ul style="list-style-type: none"> アンケートだけではなく、日常的に子供の実態をとらえて、いじめの未然防止に努めてほしい。 |
| | 特別支援教育の推進と充実 | <ul style="list-style-type: none"> 先日のわかば学級の研究発表が素晴らしかった。わかば学級の子供たちもしっかりと学習に取り組んでいた。 通常の学級の子供たちへの支援体制も充実させてほしい。 |
| 特別活動 | 集会活動や学校行事の計画的な実施 | <ul style="list-style-type: none"> 学芸会では子供たちが生き生きと演じており、素晴らしかった。 運動会等の行事でも子供たちが伸び伸びと活動しており、大変雰囲気がよい。 子供たちの自主性が大切にされていると感じる。 |
| | 異学年合同行事や異学年交流活動の計画的実施 | <ul style="list-style-type: none"> 縦割り班の活動など異学年の交流活動が大変盛んであり、継続させてほしい。 地区班や、6年生のお迎え登校があることで、地域でも上級生が下級生によく声をかけている。 |

いただいた多くの御意見を真摯に受け止め、保護者・地域の皆様と連携を図りながら、よりよい学校となるよう改善に努めてまいります。今後とも本校の教育活動に御理解・御協力をよろしくお願いいたします。